

自社開発案件

「非接触給電システム」

新聞掲載の紹介



非接触給電システム開発

走行中の連続稼働可能に AGV向け

ジーエスエレテック
 自動車用電装部品メーカーのジーエスエレテック（本社豊田市吉原町立字58の1、鈴木誠司社長、電話0565・78・2800）は、AGV（無人搬送車）やロボット向けの非接触給電システムを開発した。AGVなどが走行中でも給電対応できるのが特長。AGVが止まって充電する時間をなくし、常に連続して走行できる仕組みの構築に貢献する。2022年度以降の納入を目指す。



走行中でも対応できる非接触の給電システム

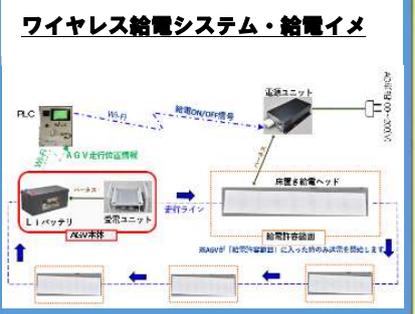
電磁誘導方式で給電する。給電ヘッドの厚みを4・5mmに抑えたことで、床からAGV本体の一番低い部分までの高さが10cm以下の場合でも対応できるようにしている。また、周囲の電子機器などへの電磁波の影響も最小限に抑制できるようにしている。

このほか、家庭用の電器で使えるようにして実用性を高めた。AGVの走行ルートの一部に設置して利用することなどを想定している。工場に限らず、倉庫や飲食店などでの利用を想定も。24時間連続して稼働させることも可能という。

AGVに加え、ロボットメーカなどにも提案する。すでにAGVメーカと実証実験も進めている。価格は1セット100万円弱を想定している。

同社は2018年に商品企画室（現プロダクト開発）を新設し、自動車以外の新規事業を検討してきた。今回の給電システムも新規事業の一環になる。

プロダクト開発部長は「将来的にロボットを支える身近なロボットが増えることが、ロボットの普及に貢献したい」と話している。



G.S.ELECTECH

AGV（無人搬送車）の非接触給電を開発しました。
 従来の給電場所で停止しての給電が不要となり、利用者の皆様がお持ちであった停止（待ち）時間の懸念が大幅に削減できるシステムです。
 今後は介護や一般家庭の皆様へ幸せをお届けできるよう努力致します。